

浦舟だより

平成30(2018)年10月1日

第6号(第232号)

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail ysurafun@edu.city.yokohama.jp

「オリヒメ」

副校長 花井 旬克子



朝夕、めっきり涼しくなり、ようやく秋らしい風情が感じられるようになり、金木犀の甘い香りがどこからともなく漂っています。前期もあとわずかで終わります。

本校では、夏休み明けより、分身ロボット OriHime「オリヒメ」を試験的に導入し、院内学級の教室等に置いた「オリヒメ」をインターネットを通じて病室のベッドサイド等からタブレットで遠隔操作をしながら授業を行っています。

「オリヒメ」を開発したのは、「オリイ研究所」の吉藤健太郎さんです。小学校から中学校にかけての3年半、自宅療養となり、1日の大半を誰とも会わずベッドで天井を見続ける日々が続くうちに、無気力になっていく自分に気づきます。患者さんの意見や自身の経験から、人工知能を学び、自ら、「オリイ研究室」を設立し、独自のアプローチで開発に取り組んで完成させたのが、「オリヒメ」でした。天の川をはさんで離ればなれになった「織姫」と「彦星」が、年に一度だけ会うことを許される七夕の伝説のように、この世には何らかの事情を抱え、会いたくても会えない人たちがいます。そんな人の「会いたい思い」を叶えてくれるのが「オリヒメ」で、物理的な距離だけでなく、心の距離も縮めてくれる、希望に満ちたテクノロジーです。「オリヒメ」は体長20センチほどの可愛いロボットです。顔の中央にカメラがあり、スピーカーとマイクを備えていて人と会話ができるようになっています。最大の特徴は、遠隔の地から操作できることで、遠くに居ながらにして、専用のアプリを使ってiPad等から簡単に動かすことができます。「オリヒメ」のマイクを通して周囲の音を聞き、スピーカーを通して自らの声を相手に届け、カメラを通して映像を見ることができます。「ロボットと人ではなく、人と人をつなぐロボット」がコンセプトのコミュニケーションロボットです。

これからも、病弱児童生徒の学びの環境づくりだけでなく、前籍校の友だちとつながりたいという気持ちも大切に、活用していきたいと思えます。

前期の終業式には小学生は「あゆみ」、中学生には「連絡票」をお渡ししますが、本校では学期途中からの転学により在籍期間が短い場合や治療や病状によって、学習時間の確保が不十分な場合があります。各教科で取り組んだ内容や目標への到達度を文章で表記することにしています。「あゆみ」及び「連絡票」を通して学習や生活の意欲を高め、さらに目的意識がもてることを願っています。

学校と家庭が情報を共有することで、より適切な指導・支援が図れるものと考えています。

今後ともご理解とご協力をお願いします。

「モネ それからの100年」

中学部美術科校外学習

～本校～



9月12日(水)の午後、特別展「モネ それからの100年」を鑑賞するために横浜美術館に行きました。混雑している中で、生徒たちは一枚一枚の絵に足を止めて、じっくりと観ていました。さまざまな作品の魅力に触れることで美術への関心が高まったようです。



院内フェスティバルに向けて

～市大病院院内学級～

秋の気配を感じるようになりました。学級の大きな木もきれいに紅葉しました。

現在、10月17日(水)の院内フェスティバルに向けて、招待状を作ったり、お店の商品を作ったりして、みんなで協力して準備をしています。



“ものづくり”ブーム

～センター院内学級～

現在、センターの院内学級では空前絶後の“ものづくり”ブームが巻き起こっています！ 紙粘土やアイロンビーズ、組みひもなど種類はさまざまです。紙粘土でつくった食べ物は、まるで本物のようです。ハロウィーンに向け、かわいい作品もできました。



アットホームなミニ縁日

～市民病院 院内学級～

9月6日(木)に、小児病棟でミニ縁日を行いました。おもちゃの金魚やスーパーボールすくい、ヨーヨーつり、わなげ、おめんづくりのコーナーをみんなでまわって、楽しいひとときを過ごしました。



10月の予定

10月 4日(木)	遠足(福浦)
10月 5日(金)	前期終業式 短縮授業
10月 9日(火)	後期始業式
10月12日(金)	短縮授業(福浦・市民・みなと) ダンスワークショップ(本校)
10月17日(水)	院内フェスティバル(福浦)
10月19日(金)	短縮授業(福浦・市民・みなと) 歯科検診・講話

10月25日(木)	宿泊学習(本校)
～26日(金)	
10月26日(金)	ドッグセラピー(福浦)
10月30日(火)	ハロウィン(福浦)
10月31日(水)	ハロウィン(センター病院)

